

洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所
2020年度活動報告書

石垣清美【箏】

5歳より生田流箏曲を学び、後に沢井忠夫に師事。'77年初代石垣征山と第1回箏・尺八ジョイント・リサイタルを開催以来、国内外各地で回を重ねる。'85年から熊谷守一美術館にて年4回9年間ジョイント・コンサートを開催。平成元年度「石垣清美 箏独奏会」の成果により、平成3年度「石垣征山・石垣清美 ジョイント・リサイタルvol.5」の成果により、文化庁芸術祭賞を受賞。コロムビアよりCD「石垣清美 箏・十七絃の世界」「沢井忠夫デュオ作品集」「石垣清美・沢井忠夫をうたう」他発売。国際交流基金の派遣などによりアメリカ、東南アジア、アルゼンチン、スペイン、中東、他を訪問。沢井箏曲院教授。邦楽音心会主宰。NHK邦楽技能者育成会、京都女子大学卒業。洗足学園音楽大学名誉教授。

市川香里【三味線】

桐香会・奏心会・新潮会・中能島会などに所属、演奏会に出演。古典を中心とした演奏活動を展開すると同時に、マリンバと三味線のデュオライブを開催するなど、和楽器と洋楽器のコラボレーションを積極的に行っている。ラジオ等録音に参加。幼少より山田流箏曲を母・亀山香能に師事。現代三味線を西潟昭子師に、河東節三味線を人間国宝・山彦千子師に師事。2005年5月菊原光治師より三味線組歌の巻を伝授。長唄三味線を杵家弥七佑美師に師事。六世中能島弘子師より名号（中彩香能）を許される。東京藝術大学邦楽科箏曲山田流専攻卒業。在学中、萩岡松韻師らに師事、宮城賞受賞。洗足学園音楽大学大学院修士課程器楽専攻和楽器三味線コース修了。同大学院にて前田音楽奨励賞受賞、前田記念奨学金奨学生に選ばれる。「大学院グランプリ特別演奏会」に出演。2010年3月、金聖響指揮・神奈川フィルハーモニー管弦楽団と、ソリストとして協奏曲を共演。第5回東京邦楽コンクール第1位、NHK邦楽オーディション合格。

江戸信吾【箏】

東海大学大学院芸術学研究科修了。箏を伯父坂本勉、菊地梯子氏、吉崎克彦氏に、作曲を牧野由多可氏に師事。第4回箏創作フェアにおいて“さすらいの主題による三重奏曲”がTBS賞受賞。第5回箏創作フェアにおいて“春の田園詩”が朝日新聞社賞受賞。大日本家庭音楽会より自作品楽譜とCD「江戸信吾作品集Vol.1～5」発売中。坂本玉宏会二代目家元。「和琴の会」主宰。

砂崎知子【箏】

東京藝術大学邦楽科を卒業、同大学院修了。宮城喜代子、小橋幹子、上木康江の各氏に師事。これまでに東京藝術大学非常勤講師、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学邦楽科客員教授を歴任する。リサイタルは、1974年の第1回よりこれまでにのべ40回以上を開催し、1987年の第17回リサイタルに対し文化庁芸術祭優秀賞を受賞、1999年には大阪ドーンセンターで開催したリサイタルに対し大阪文化祭賞を受賞、2006年開軒40周年記念リサイタルを国立小劇場にて開催、2011年のリサイタル「協奏曲の夕べ」に対し芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した。1978年発表の「琴ヴィヴァルディ四季」（東芝EMI）を皮切りに、クラシックを箏で演奏した画期的なレコードは異例の40万枚を売り上げ、その後CD化に至る。1989年にソロアルバム「ベストテイク」（ビクター）を発売。2007年より宮城道雄作品集シリーズ「春の海」「水の変態」「越天楽変奏曲」（日本コロムビア）を順次発売し、純邦楽CDランキングにて「春の海」は第1位、その他も上位を獲得した。2016年5月にはこれまでの自作の新録音となる「砂崎知子作品集1~3」CDを発売した。2007年から2011年にかけて「砂崎知

子箏コンサート全国ツアー」を企画し、この間に砂崎知子と琴ニューアンサンブルメンバーと共に国内の29カ所を巡り、各地で公演を開催した。これまでの様々な活動に対し、2016年には伝統文化ポラ賞優秀賞を受賞した。現在、全国小中学生箏曲コンクール、全国高校生邦楽コンクール審査員。NHK TV「にっぽんの芸能」、FM「邦楽百番」等に多数出演。東京・大阪・岡山に教室を持ち、多くの門人の為に日々指導にあたっている。

冨田慎平【邦楽打楽器】

洗足学園音楽大学音楽学部音楽科打楽器コース卒業。在学中、洗足学園音楽大学主催第9回～11回「室内楽コンサート～オーディション合格者による～」披露演奏会成績優秀者による卒業演奏会、現代音楽協会主催「現代の音楽展」、ドイツ「オストフリーストランド音楽祭」サントリーホール主催「レインボー21デビューコンサート」などに出演。NHK-FM「日本の民謡」「民謡を訪ねて」、NHK-Eテレ「民謡魂」、NHK-world「Blends」、テレビ東京「年忘れにっぽんの歌」「おはスタ645」、フジテレビ「武器はテレビSMA P×FN S 27時間テレビ」、読売テレビドラマ「猿ロック」、日本テレビ放送「Dr.倫太郎」、日本フィルハーモニー交響楽団第642回定期演奏会などに出演。洗足学園音楽大学講師。

鳥居名美野【箏曲組歌】

東京藝術大学邦楽科卒業、同大学大学院修士課程修了、芸術修士号取得。市村綾能(実母)、五代・鳥居登名美(養母)、中能島欣一、初代・越野栄松、二代・高橋栄清に師事。昭和30年五代・名美野を襲名。昭和57年家元継承。昭和29年安宅賞。昭和55年・57年文化庁芸術祭優秀賞。平成14年文化庁長官賞。平成17年松尾芸能賞。米国ワシントン大学にて講師として1年、ウェスリアン大学にて客員芸術家として10年山田流箏曲を教授。アメリカ各地、多数の大学、カナダ、イギリス、中国にて演奏。現在、山田流古典曲保持者として箏曲組歌の研究、古典曲の研鑽と伝承に努めるとともに、演奏で活躍。山田流に伝わる組歌全30曲の楽譜を出版。CD鳥居名美野箏曲組歌第1集~第4集(日本伝統文化振興財団)。河東節・山彦登和子、一中節・宇治紫蝶の芸名を持つ。箏曲組歌会代表、山田流箏曲協会副会長、(社)日本三曲協会監事、「燿名会」主宰。

西川啓光【邦楽打楽器】

所属団体「オーケストラアジア」、日本音楽著作権協会。西川啓光和太鼓フループ「鼓友会」主宰。パール楽器製造株式会社「パール和太鼓」アドバイザー。著作「和太鼓をはじめよう!」(汐文社)。日本音楽集団の一員として「音楽之友社賞」「レミーマタン音楽賞」受賞。市川猿之助演出主演スーパー歌舞伎、シドニー市と東京都姉妹都市提携の友好使節団、大相撲アメリカ公演及びパリ公演等の音楽監督やプロデュースを行う。各地方の太鼓グループ等の演奏指導も行う。

野澤佐保子【箏】

幼少より母に生田流箏曲の手ほどきを受ける。現代奏法を福永千恵子師に、古典地歌箏曲を芦垣美穂師に師事。NHK邦楽技能者育成会第41期卒業。現代邦楽研究所第4期修了。一般社団法人京都當道会師匠資格取得。名古屋大学文学部卒業。賢順記念全国箏曲コンクール第一位賢順賞受賞。東京邦楽コンクール奨励賞受賞。ビクター邦楽技能者育英賞受賞。蒲郡市文化協会奨励賞受賞。NHK邦楽オーディション合格(箏、十七絃箏)。2000年、2006年、2014年にリサイタルを行うほか、各種演奏会、演奏会企画公演など各地で行う。学校へのア

ウトリーチも積極的に取り組んでいる。CD録音参加、NHKFMラジオ出演多数。「やさしい箏入門」（ドレミ楽譜出版社刊）執筆。洗足学園音楽大学講師、桐生大学附属中学校講師、NHK邦楽技能者育成会同窓会合奏団現代邦楽”考”団員、東久留米市邦楽連盟、蒲都市文化協会所属。

野澤徹也【三味線】

受賞歴は東京邦楽コンクール第1位、全国邦楽コンクール優秀賞他多数。CDは『三味線独奏曲集』（TY サポート受賞作品）の他、計18枚リリース。2019年『杵屋正邦作品集』を（公財）日本伝統文化振興財団よりリリースし、令和元年度（第74回）文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。2013年～現在放送中の『にっぽんの芸能』テーマ曲・挿入曲の演奏を担当。今年度の6月には演歌歌手・五木ひろしコンサート「和楽器と奏でる日本のこころ」に出演。8月にはNHK第一ラジオドラマ「料理人季蔵捕物控（西田敏行、竹下景子主演）」シリーズの三味線演奏を担当。洗足学園音楽大学講師。

松尾祐孝【作曲】

1959年東京生まれ。1984年東京芸術大学大学院修士課程修了。85年日仏現代音楽作曲コンクール特別賞、88年ACL青年作曲賞第1位、92年ISCM世界音楽の日々ワルシャワ大会入選その他、村松賞、別宮賞等、受賞多数。94年には、代表作〈PHONOAPHERE I～尺八と管弦楽の為に〉が東京フィル欧州楽旅で絶賛を博す。以後、邦楽器の分野にも積極的に関わっており、2014年に開催した《松尾祐孝邦楽器作品個展》は大きな反響を巻き起こした。国際交流活動にも積極的で、98年ブザンソン国際作曲コンクール審査員、《ISCM世界音楽の日々2001横浜大会》等の実行委員長、メキシコ《セルバンティノ芸術祭2005》招待作曲家、エクアドル《日本＝エクアドル交流演奏会2006》招待指揮者、NY《Music From Japan 2007》委嘱作曲家、ポルトガル《Musica Viva 2010》委嘱作曲家、ウクライナ《Donbas Modern Music Art 2013》招聘指揮者、等を歴任している。現在、（N法）日本現代音楽協会理事、（公財）日本音楽教育文化振興会理事、（一社）日本木文化学会代表理事。

森重行敏【音楽学】

1979年東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。大学在学中、故小泉文夫教授の薫陶により日本とアジアの音楽に関心を持ち、ガムラン音楽グループの創設に加わる。1979年～武蔵野音楽学院（調布市、廃校）にて 楽典授業、学務副主任1984年～（財）日本児童手当協会音楽事業部コーディネータとして青山・こどもの城（国立総合児童センター）における邦楽、ガムラン、合唱などの音楽講座の企画、運営にあたる。1990年～ PAN School of Music（渋谷区、廃校）にてイヤートレーニング担当、テキスト作成に携わる。1995年～ 現代邦楽研究所（目白）の開校時より、授業系主任としてカリキュラム作成、授業実施に携わる。2002年～桐朋学園大学短期大学部（現、桐朋学園芸術短大）にて日本音楽理論講義。2003年～東京 芸術大学音楽学部音楽環境創造科にて日本音楽概論講義。2005年～洗足学園音楽大学現代邦楽研究所および現代邦楽コースにて各種授業。2013年～尚美学園大学にて「諸民族の音楽」授業。洋楽、邦楽、ガムラン音楽分野の編曲作品、解説、著述多数。現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、東京 芸術大学、尚美学園大学、日本電子専門学校にて授業担当。他に九州大学芸術工学部にて毎年集中講義。NPO法人日本ガムラン音楽振興会理事。近年のおもな業績 2012年「ビジュアル版・和楽器事典」（単著）汐文社刊。2013～2015 国立劇場邦楽公演専門委員。2015年度より洗足学園音楽大学客員教授および現代邦楽研究所所長。

山口賢治【尺八】

尺八を青木鈴慕(人間国宝)、佐々木晴風、演奏法を石川憲弘に師事。NHK邦楽技能者育成会卒、現代邦楽研究所研究科卒。NHK邦楽オーディション合格。書籍「和楽器にチャレンジ尺八を吹いてみよう」(汐文社)、CD「尺八の現在革新から新たなる伝統へ」(YSEK001)。リサイタルシリーズ「尺八の現在」に現代音楽作曲家の作品や委嘱活動を行う。また音楽づくりの手法を取り入れた教育活動にも力を入れる。現在、山口尺八演奏研究室主宰。邦楽創造集団オーラJ団員。洗足学園音楽大学講師。

山下名緒野【箏曲組歌】

幼少より母に手ほどきを受ける。昭和47年鳥居名美野師に師事。現在に至る。昭和47~53年市村綾能師に師事。昭和53年東京藝術大学卒業。昭和55年NHK邦楽技能者育成会修了。昭和60年文化庁国内研修員に任命される。平成19年~21年東京芸術大学非常勤講師。平成22年より洗足学園音楽大学現代邦楽研究所箏曲組歌講師。河東節を山彦さわ子師に師事し山彦みや子を荻江節を荻江さわ師に師事し荻江りおを、一中節を十二世都一中師に師事し都一恵の名前を許される。「邦楽百番」「芸能花舞台」等出演。日本三曲協会、山田流箏曲協会。

山中信人【津軽三味線】

中学校卒業後15歳で単身青森県弘前市に渡り、津軽三味線奏者「山田千里(やまだちさと)」の内弟子として4年間修業。津軽三味線山田千里流師範となる。毎年青森県弘前市でおこなわれる津軽三味線世界大会では最上級A級3連覇を達成し殿堂入り。また津軽民謡の伝統的な唄付けの技術を競い合う「唄付け伴奏部門」で3回の優勝を獲得。海外計38の国と地域で演奏。約16年にわたり「南中ソーラン」など現代風アレンジした民謡を演奏する伊藤多喜雄&タキオバンドのメンバーとして活動。世界を意識した活動を行う埼玉県にゆかりのある個人や団体に贈られる「平成29年度埼玉グローバル賞」を受賞。「平成30年度北本市文化奨励賞」を受賞。現在はソロ奏者として演奏会、学校公演、講演会などで活動中。洗足学園音楽大学講師。加須市観光大使。北本市観光大使。埼玉親善大使。

吉原佐知子【箏】

東京藝術大学邦楽科生田流箏曲専攻卒業。NHK邦楽技能者育成会卒業。現代邦楽研究所第1期卒業。同所にてビクター邦楽技能者育英賞受賞。全国高校生邦楽コンクール準優賞。賢順記念全国箏曲コンクール銅賞、奨励賞受賞。NHKオーディション合格。「和楽器にチャレンジ箏」(汐文社)執筆担当。日本三曲協会、生田流協会、森の会、あいおいの会会員。洗足学園音楽大学、熊本大学、東京都市大学等々力中高箏曲部講師。

3 研究活動概要

現代邦楽研究所における研究活動の大きな柱は、演奏活動と教育活動の2本にある。演奏会活動については、作曲家への邦楽器による新たな作品の委嘱や初演を手がけ、優れた現代邦楽作品の演奏紹介を行う他、古典についても現代に生きる音楽としての視点から演奏や研究活動を行っている。教育活動については専門性を高める教育と同時に、幅広く日本の伝統音楽を体験してもらう方法論として、音楽づくりの手法を取り入れた教育法の研究と実践を進めている。

■現代邦楽研究所協力演奏会

例年、1月の土曜日に現代邦楽研究所の各公開講座の研究生による成果発表の場となる修了コンサートが開かれていたが、緊急事態宣言の発令期間となってしまったためコンサートは実施されなかった。今年度の現代邦楽研究所主催演奏会は無かったが、開催に協力した演奏会について下記に示す。

・洗足学園音楽大学 邦楽 冬の演奏会

【日時】2020年12月5日(土) 14:00 開演

【会場】洗足学園音楽大学 シルバーマウンテンBF 【主催】洗足学園音楽大学・大学院

【プログラム】

- 「さらし風手事」宮城道雄 作曲
- 「名乗笛」「楽」「中ノ舞」古典
- 「箏三絃二重奏曲」杵屋正邦 作曲
- 「妝台秋思」古曲 杜次文 編曲
- 「姜女泪」周延甲 作曲
- 「夢の輪」沢井比河流 作曲

【出演者】

現代邦楽コース大学院、学部生、卒業生

助演…富田慎平（講師：打楽器） 司会…松尾祐孝（教授）



・洗足学園音楽大学による 三味線コンサート

《Kissポート YouTube チャンネル》音楽のさんぽ道 収録

【日時】2020年11月27日（金）15:00開演 【会場】港区立伝統文化交流館

【主催】公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団（Kissポート財団）

【配信】2021年1月5日～

https://www.youtube.com/channel/UC_ryo_ismDWgrlDdSUX628Q/videos

洗足学園音楽大学による
三味線コンサート
《Kissポート YouTube チャンネル》
音楽のさんぽ道

- 長唄三味線：市川香里
「大薩摩」
- 端唄：五十川真子
「さのさ節」「芝で生まれて」
- 津軽三味線：山中信人
「さくら」「津軽じよんから節」
- 休憩
- 地唄三味線：五十川真子・市川香里
菊重精峰 作曲「猿蓑物語」
- 現代作品、尺八との合奏
：市川香里・山口賢治
杵屋正邦 作曲「明鏡」

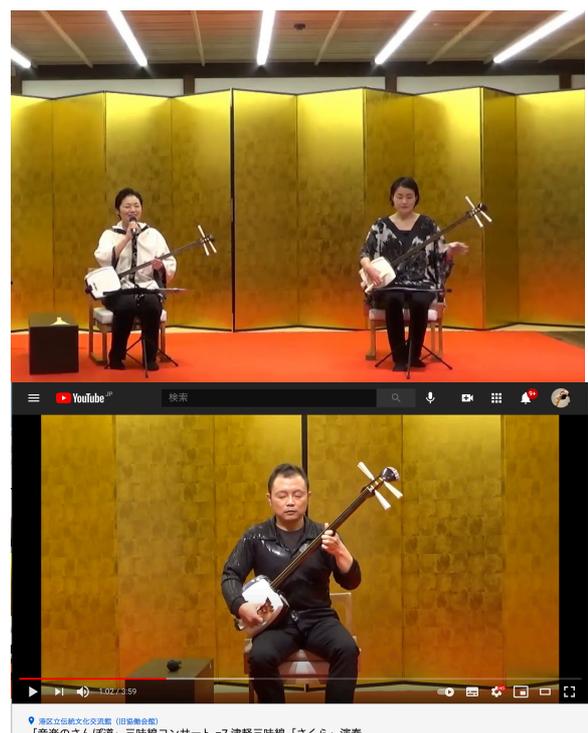
○収録：令和2年11月27日（金）
14:30開場
15:00開演
16:20終演予定

○会場：港区立伝統文化交流館
交流の間

○配信：令和3年1月5日～2月4日



Kissポート財団
港区立伝統文化交流館 YouTubeチャンネル



・ショッピングモール グランツリー武蔵小杉 新春イベント演奏

2021年1月2日(土)

1st.11:00 ~ 2nd.15:00~

【主催】 グランツリー武蔵小杉

【プログラム】

「桜ファンタジー」 玉木宏樹 作曲

「六段の調」

「津軽じゃんがら節」

「春の海」 宮城道雄 作曲

「重陽」 杵屋正邦 作曲

「夢の輪」 沢井比河流 作曲



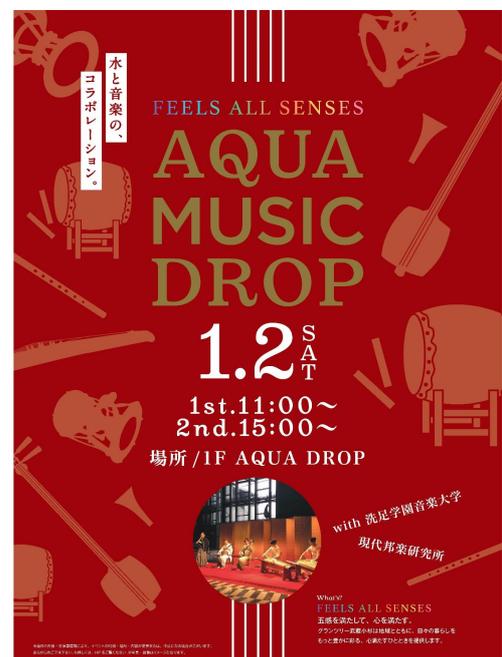
洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所



【出演者】

和楽器奏者6名(尺八、箏、津軽三味線、打ち物)、
それぞれ異なる和楽器を使い、演奏を披露します。

- ・山口賢治(尺八)
- ・富田慎平(打ち物)
- ・谷富愛美(箏)
- ・青木理加(箏)
- ・平原愛香(箏)
- ・稲沢茉莉(津軽三味線)



・箏曲組歌演奏会WEB収録

【日時】 2021年3月7日(日)

【会場】 紀尾井ホール

【主催】 箏曲組歌会

【プログラム】

「薄衣」(裏組) 八橋検校 作曲

設楽千聡代 小間夕起子 塚田季染

「橋姫」(中組) 三橋検校 作曲

山下名緒野 小林名与郁

「秋風曲」(新組歌) 光崎検校 作曲

山登松和 亀山香能 上原真佐輝

「思川」(奥組) 北島検校または生田検校 作曲

鳥居名美野 佐々木千香能 橋本芳子 伊藤松超



※2020年4月に公開予定

・ 洗足学園音楽大学 邦楽第11回定期演奏会 ～ 邦楽と舞踊 ～

World Wood Day 2021 連携イベント

【日時】2021年3月21日（日） 14：30 開演 【会場】洗足学園前田ホール

【主催】 洗足学園音楽大学・大学院

【プログラム】

「ポピーエチュード」池辺晋一郎 作曲（現代邦楽研究所 第1期委嘱作品）

「八千代獅子」藤永検校 作曲

「天空幻想 II」～篠笛と箏の為に～ 松尾祐孝 作曲（新作初演）

「四つの小品」長沢勝俊 作曲

【出演】

日本舞踊…花柳輔瑞佳（講師） ダンス指導…井口美穂（准教授）

現代邦楽コース学生、院生、卒業生、修了生

吉原佐知子（講師） 山口賢治（講師） 富田慎平（講師）

ダンスコース学生

司会…松尾祐孝（教授）

【照明】

岡田勇輔（講師） 音楽環境創造コース学生

【動画配信】

<https://www.youtube.com/watch?v=WsKnQwxLiM0>

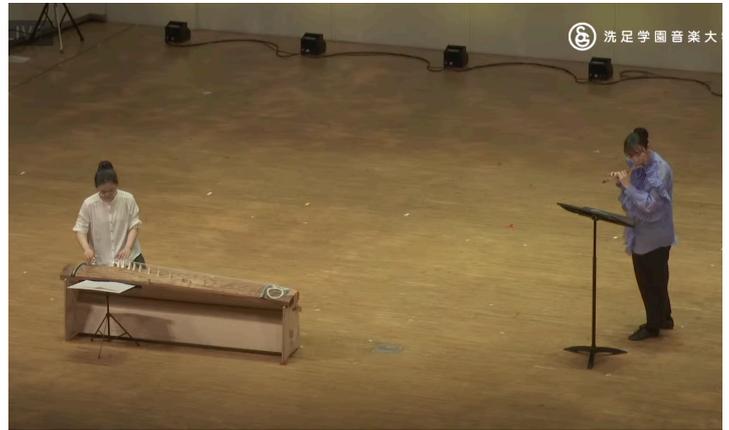


■作品初演

- ・2021年3月21日（日）邦楽第11回定期演奏会
「天空幻想Ⅱ」～篠笛と箏の為に～ 松尾祐孝 作曲
箏：吳尚美婭（院2） 笛…馮蕊（院1）

【曲目解説】

今年度は、大学院和楽器専攻に篠笛専攻1名と箏専攻1名が在籍している。両名とも中国からの留学生で、東アジアの伝統楽器の比較研究も含めて、本学で熱心に研鑽を積んでいる。そこで、その二人が協演して初演できる二重奏作品を用意した。日本の伝統音楽のルーツが中国の西域やモンゴルを経て伝来したことに想いを馳せつつ、青空を見上げるようなイメージを脳裏に描きながら、筆を進めた作品となった。若い二人のフレッシュな演奏と東アジアの伝統楽器のサウンドの魅力を、存分にお楽しみください。 [作曲者]



■情報発信

- ・邦楽ワークショップブログ <http://blog.senzoku.ac.jp/hougaku/>
邦楽器を用いた、或は日本の伝統音楽の理論や方法論を活用した音楽づくりワークショップに関するブログを開設し、情報発信を行っている。写真やダイジェスト動画を付けて、ワークショップ活動の報告や実施プログラムを公開している。ワークショップ教材としての活用や新たな教材作成のヒントとされることを念頭に置いている。邦楽ワークショップの概要については下記のURLを参照。
- ・現代邦楽研究所ブログ <http://blog.senzoku.ac.jp/genhouken/>
現代邦楽研究所にて開講された授業をダイジェスト動画付きで紹介し、また関連する演奏会情報や卒業生の活躍などについて掲載している。

4 社会貢献・地域貢献活動

■現代邦楽研究所主催 公開講座

第26期現代邦楽研究所はコロナウィルス蔓延による非常事態宣言等の影響により例年開講している現代邦楽研究所総合コースの募集を取り止めた。テーマ別にポイントを定めて研究や勉強したい人向けの邦楽ワンテーマ講座については感染対策を徹底した上で開講した。例年は全10枠の講座数設定であるが、実情に合わせ受講生や担当講師の意向を汲み、一部講座において実施枠を減らすなどの対応を行なった。実施講座を下記に示す。

- ・箏合奏研究講座
 担当講師…石垣清美 江戸信吾 砂崎知子 吉原佐知子
 講習曲目…甦る五つの歌/沢井忠夫 作曲 春の一つ星/江戸信吾 作曲
 ヴィヴァルディ 四季より春 二つの舞/玉木宏樹 作曲
- ・箏曲組歌研究講座
 担当講師…鳥居名美野
 講習曲目…秋風曲 薄雪 雪の晨 友千鳥 雲の上
- ・十七絃奏法研究講座
 担当講師…石垣清美
 講習曲目…風衣/沢井忠夫 蜻蜒天水/唯是震一 組歌/肥後一郎 瀬音/宮城道雄
- ・三味線組歌研究講座
 担当講師…芦垣美穂
 講習曲目…浮世組 待つにござれ
- ・やさしい箏合奏講座
 担当講師…野澤佐保子 吉原佐知子
 講習曲目…OKOTO/沢井比可流 作曲 陽だまり/石垣征山 作曲
 竈門炭治郎のうた/野澤佐保子編曲 紅蓮華/渡辺泰子編曲
 幻想的の二章/水野利彦 作曲
- ・楽しい鼓講座
 担当講師…西川啓光
 講習曲目…千鳥の曲

実施講座については収録動画をWEB上に限定公開して、受講生が自宅でも講習を受けられるようにした。これによりコロナによる講習会場まで来れない講座生も受講できるサービスを提供した。

■学校公演

- ・川崎市立生田小学校邦楽観賞会
 【日時】
 2020年12月18日（金）
 【出演】
 野澤徹也（講師）
 野澤佐保子（講師）
 現代邦楽コース学生、卒業生 他
 【プログラム】
 「紅蓮華」「春の海」「夢の輪」
 など



■講師派遣授業

- ・NPO法人かわさき市民アカデミー NPO法人かわさき市民アカデミー主催による市民講座
「伝統芸能講座 緊急企画 日本の伝統芸能は再生できるか」(高津市民館)を担当し、講師派遣を行った。(3/8ゲストの野澤佐保子は事故により大友美由奈に変更。写真は3/8の森重行敏 講師とゲスト出演者達。)

講座	【講座名】 伝統芸能講座 緊急企画 日本の伝統芸能は再生できるか				
7	【定員】 48名 【受講料(税込)】 2年会員 11,150円 1年会員 12,250円 聴講生 15,550円 (資料代150円を含みます。)				
	日本の伝統芸能 【時間】 毎回13時30分～15時00分 (計12回)				
概要	日本の伝統芸能にとっても、コロナショックは想定外の打撃でした。誰一人として演奏活動ができないという前代未聞の状況を踏まえ、日本の音楽や芸能の現状を見つめるとともに、改めて伝統芸能の存在理由と将来への展望を考えます。ゲストによる演奏も企画しています。				
回	月/日(曜日)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	9/28(月)	高津市民館 大会議室 (NOCTY 2 12階)	はじめに 日本の芸能の原点～なぜ人は歌い踊るのか	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重 行敏	
2	10/5(月)		声のちから～祈りの声、魔除けの声などに日本の芸能の根源をみる		
3	10/26(月)		舞、踊り・日本人の身体と動き～大地を踏みしめる動きは厄払いか		
4	11/9(月)		打ち物の世界 ～太鼓は超自然のエネルギー		
5	11/30(月)		笛、尺八の仲間～神の降臨する音		
6	12/7(月)		雅楽の新しい視点 ゲスト中村仁美(筆楽)ほか ★		
7	12/14(月)		コトの仲間～コトは神との交流道具か。神話に登場するコトを巡って		
8	1/25(月)		琵琶三味線の仲間～琵琶法師が残したもの		
9	2/1(月)		琉球芸能の楽しみ ゲスト名嘉ヨシ子、照喜名朝國(予定) ★		
10	2/22(月)		胡弓の仲間～擦る音への好き嫌い		
11	3/8(月)		邦楽の伝統と未来 ゲスト山口賢治、吉原佐知子、野澤佐保子 ★		
12	3/22(月)		まとめ 伝統芸能は再生できるのか		
連絡事項	後期の★の付いている演奏会は受講生の目の鑑賞になります。				



■現代邦楽研究所アーカイブ動画公開プロジェクト

コロナウイルスの影響で外出自粛が続く社会状況を受け、現代邦楽研究所として現邦研生や洗足学生のみならず、広く社会への貢献として、所有する記録動画コンテンツのWEB上公開を進めた。日本の伝統音楽の分野で様々な活動を1995年より四半世紀以上に渡り続けてきており、過去の豊富なコンテンツが保管されている。これらのコンテンツを多くの人々に楽しんで貰ったり、自宅で勉強するための参考教材として活用してもらうことを狙いとした。

【公開動画リスト】

- 「絲竹交響第3番」藤井凡大 作曲/「九絃の曲」本間貞史 作曲
 尺八と箏と十七絃のための三重奏曲「雪景第2番」下山一二三 作曲/箏曲組歌「末の松」
 尺八古典本曲「布袋軒 三谷」/「箏三絃二重奏曲」杵屋正邦 作曲 /「尺八五重奏曲」川越道子 作曲
 「Mirage 2008」 Elizabeth Brown 作曲/ 三曲古典「新娘道成寺」/「静寂V」山本邦山 作曲
 「樹下の二人」高村光太郎 作詞・小山清茂 作曲/「邦楽合奏曲 熊野古道」林哲司 作曲
 「MABUI for shakuhachi and flute」近藤春恵 作曲 /「燃え尽きるまでの形」池上眞吾 作曲
 「さらし五変化 ～尺八、三絃、十三絃、十七絃のために～」松尾祐孝 作曲
 尺八・箏二重奏曲「蔦葛」杵屋正邦 作曲/「波の狭間に」松下 功 作曲
 「尺八と箏のための複協奏曲」船川利夫 作曲/「幽曲II」藤田正典 作曲
 「ノヴェンバー・ステップス第十段」武満徹 作曲/「霧ヶ峰」菱沼尚子 作曲/ 都山流本曲「紅葉」
 「音、きらゝ」沢井忠夫 作曲/「風の歌」沢井忠夫 作曲 /「上州物語」川崎絵都夫 作曲
 「虹の螺旋」玉木宏樹作曲/「夏野」杵屋正邦 作曲/「冬の一 日 part2」長沢勝俊 作曲
 「二種の三絃の為のソナタ」藤井凡大 作曲/箏曲組歌「若葉」/「龍星群」橋本みぎわ 作曲
 「合奏曲 六声」杵屋正邦 作曲 /「二つの三絃の為の八章 群」吉崎克彦 作曲/三曲古典「夕顔」
 「春興」杵屋正邦 作曲 /「変容21」藤井凡大 作曲/「ピンダロスの涙」玉木宏樹 作曲
 「花の乱 邦楽器編」三枝成彰 作曲/箏曲組歌「四季曲」/三曲古典「さらし」/ 箏曲組歌「薄衣」
 「鼓と大皮のための～あけぼの～」西川啓光作曲/箏曲組歌「心尽」
 「森の記憶version 1 The Forest : Echoes from the Past」吉川和夫 作曲
 「合奏曲 奏鳴」杵屋正邦 作曲/箏曲組歌「玉鬘」/箏曲組歌「扇曲」/「遠雷の時II」菅野由弘 作曲
 「福島瀧幻想曲」玉木宏樹 作曲 /「八段恋慕」杵屋正邦 作曲/「子供のための組曲」長沢勝俊 作曲
 「海流」木乃下真市 作曲/「水煙風鐸」長沢勝俊 作曲/「三絃・箏・十七絃による四重奏曲」藤井凡大 作曲
 「阿波の風」石垣征山 作曲・西川啓光 作調 /「三味線と尺八のセレナード」玉木宏樹 作曲
 「ともしび三章」長沢勝俊 作曲/「尺八四重奏曲」杵屋正邦 作曲/「東北民謡による組曲」牧野由多可 作曲
 「津軽三味線に寄せて」杵屋正邦 作曲/「翠嵐 SUIRAN」大嶽和久 作曲 /「夏の一 日」長沢勝俊 作曲
 「小鼓と箏・十七絃のための嬉遊曲」杵屋正邦 作曲 /「箏とギターのための悲歌」肥後一郎 作曲
 「土声」沢井比河流 作曲 /「相聞歌」浦田健次郎 作曲/「二棹の三味線のための序破急」佐藤敏直 作曲
 「三絃四重奏曲第二番」杵屋正邦 作曲/「太鼓の曲」杵屋正邦 作曲 /「日本民謡組曲」福島雄次郎 作曲
 「重陽」杵屋正邦 作曲/琉球箏曲「六段菅攬」/「すががき」復元演奏/「恵嶺奈ELENA」Yuki森本 作曲
 「Sound Sound V ～箏とオルガンの為の幻想曲～」松尾祐孝 作曲
 「時間∞旅行 タイムトラベル」吉崎克彦 作曲
 「はじめのうた」三絃のために（エコーマシーンを伴う）池辺晋一郎 作曲
 「三絃と邦楽器群のためのトッカータ」牧野由多可 作曲
 「語りと邦楽による おらあ兄ちゃんだ」高野 鶴与 作/石井由希子 作曲
 「F・L・Y」沢井比河流 作曲/「二面の箏、十七絃と弦のための雲烟」池辺晋一郎 作曲
 「ファンタジア」沢井忠夫 作曲/「アルマの雲」吉村弘 作曲 /「三絃協奏曲」中能島欣一 作曲
 「宇宙の詩」水川寿也 作曲 /「夏色の風景」沢井忠夫 作曲/「原生一望」石垣征山作曲
 「日本民謡による組曲」牧野由多可 作曲/「エルサルバドル」池上眞吾 作曲

「たどるかたち」池辺晋一郎 作曲/「合奏曲 通天記」杵屋正邦 作曲 / 「箏四重奏曲」沢井忠夫 作曲
 「和楽器のための合奏曲 四つの旋律」藤井凡大 作曲 / 「和（やわらぎ）」石垣征山 作曲・西川啓光 作調
 「二本の尺八あるいは尺八合奏のための練習曲集 ひとときひとふき」稲森安太己 作曲
 「小組曲」三木稔 作曲/「細雪を想い・・・」マーティン・リーガン 作曲
 「十七絃と打楽器のための～ 颯」西村朗 作曲
 「新譜音悦多Ⅲ～架空の民謡による音風景集～」松尾祐孝 作曲
 「TANGO AKIKO」玉木宏樹 作曲/「千鳥幻想」沢井忠夫 作曲/尺八古典本曲集 / 「焰」江原大介 作曲
 「黒田節による幻想曲」沢井忠夫 作曲 / 「越天楽変奏曲」宮城道雄 作曲/「四重華一番」藤井凡大 作曲
 「箏三重奏曲」長沢勝俊 作曲/「三つのフェスタルバラード」三木稔 作曲 / 「抒情連歌」佐藤昌弘 作曲
 「踊る」石垣征山 作曲/「風林火山」山中信人 作曲
 「七変化 ～尺八、三絃。十三絃、十七絃の為に～」松尾祐孝 作曲
 独奏ヴァイオリンと邦楽器のための「千夜一夜物語」玉木宏樹 作曲
 箏のための「展」沢井忠夫 作曲 / 「清泉飛瀑-くまもとの水によせて-」長沢勝俊作曲
 「箏協奏曲 翔」石井由希子 作曲/箏曲組歌「雲井曲」 / 「合奏曲 壽」杵屋正邦 作曲
 「合奏曲六段」藤井凡大 作曲 女声合唱付き/三味線オペラ「猫に小判」溝入敬三 作曲
 「二重の螺旋Ⅱ」松尾祐孝 作曲/古典箏曲「五段砧」 / 「讃歌」沢井忠夫 作曲
 箏のための小協奏曲「ファンタジア」沢井忠夫 作曲/箏曲組歌「桐壺」
 「新譜音悦多Ⅱ～七段合奏今様」松尾祐孝 作曲/箏曲組歌「須磨」 / 「津軽・風の舞」山中信人 作曲
 「星空奇譚」篠原真 作曲 / 「協奏的小品<瑞氣集門> ～三味線と十七絃のための～」山田武彦 作曲
 「深みどり」石垣征山 作曲 / 箏曲組歌「明石」

以上131曲。動画URLリストは下記。

<https://blog.senzoku.ac.jp/genhouken/2020/05/url-f886.html>

5 所蔵物

・ 楽器

大学授業および現代邦楽研究所講習などで活用するための楽器として箏(十三絃/十七絃)、三味線、尺八、笛、邦楽打楽器などを備品として保管管理。

・ 楽譜

主に現代邦楽作品の五線譜楽譜を中心に約300曲を保有。

・ CD・DVD

研究用に購入もしくは寄贈されたCD、DVDなど約200点を保有。その他、過去の演奏会や講習の記録ビデオや録音音源を保有。

6 現代邦楽研究所事務局所在地

〒213-8580 神奈川県川崎市高津区久本2-3-1

洗足学園音楽大学内アンサンブルシティ5階 C503

電話&FAX：044-856-2932 メール：genhouken01@senzoku.ac.jp